

SDGs推進本部会合(第3回)における地方自治体との連携に関する議論

【総理発言(抜粋)】

「持続可能な開発目標、すなわちSDGsは、先進国、途上国全てが責任を持つ重要な取組です。日本は人間の安全保障の考え方に立ち、誰一人置き去りにすることなく、一人一人が持てる能力を発揮できる社会の実現に向けて、リーダーシップを発揮してまいります。

7月の国連での報告や9月の国連総会も見据え、私から、次の3点につき改めて指示します。

～中略～

第二に、地方でのSDGsの推進です。これは正に地方創生の実現にも資するものです。関係閣僚が連携して、SDGs達成に向けた地方の取組を促進する施策を検討、実施していくようお願いします。



平成29年6月9日開催(於総理官邸)

【山本内閣府地方創生担当大臣発言】

SDGsを全国的に実施するためには、**広く全国の地方自治体による地域のステークホルダーと連携した積極的な取組の推進が必要不可欠であります。**

このため、「環境未来都市」構想をさらに発展させ、地方自治体におけるSDGs達成のための**施策を策定し、これを積極的に推進することにより、地方創生のさらなる実現につなげてまいります。**

「まち・ひと・しごと基本方針2017」 閣議決定 (平成29年6月9日)

概要

わが国におけるSDGsの国内実施を促進するためには、民間事業者等による取組だけでなく、地方公共団体及びその地域で活躍するステークホルダーによるSDGs達成のための積極的な取組が必要不可欠である。加えてわが国では、今後のSDGsの実施段階においても、世界のロールモデルとなることを目指し、国内実施、国際協力の両面において、持続可能な開発のために取組むこととしており、環境未来都市及び環境モデル都市の先進的な取組実績等を活用して、これに貢献していく必要がある。このため、今後「環境未来都市」構想のさらなる発展に向けて、地方公共団体におけるSDGs達成に向けた取組を促進するための施策を検討し、方向性を取りまとめる。

具体的取組

◎地方公共団体に対する普及促進活動の展開

- ・国内外の都市の成功事例・知見の共有やネットワークの形成支援を目的に、引き続き、SDGsをテーマとした「環境未来都市」構想推進国際フォーラムを開催し、自律的で持続的な都市の実現を図る。
- ・SDGsに関する機運醸成を図るため、地方公共団体が主催するSDGs理解促進、普及啓発のためのフォーラム事業等に対して支援を行う。

◎地方公共団体によるSDGs達成のためのモデル事例の形成

- ・地方公共団体によるSDGs達成に向けた取組を促進するため、モデル的な取組を形成するための資金支援策を検討し、成案を得る。その際、他の模範となるような成功事例を形成することを目的に、有識者による継続的なフォローアップ支援も同時に検討し、成案を得る。

自治体SDGs推進のための有識者検討会①

概要

SDGsを全国的に実施するためには、地域における積極的な取組が不可欠であり、また地方自治体へ大きな期待が持たれています。このような中で、「環境未来都市」構想推進の取組手法及びその実績は、自治体がSDGsを推進する上で、大いに活用できるものと考えます。

よって、本検討会では、「環境未来都市」構想の実績を踏まえ、地方創生における自治体SDGs達成のための取組を推進するに当たっての基本的考え方を取りまとめつつ、具体的な施策を提言する。

委員 (敬称略・五十音順)

【座長】

村上 周三 一般財団法人建築環境・省エネルギー機構理事長

【委員】

秋山 弘子 東京大学高齢社会総合研究機構特任教授
浅見 泰司 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授
蟹江 憲史 慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科教授
小宮山 宏 株式会社三菱総合研究所理事長
城山 英明 東京大学大学院法学政治学研究科教授
関 幸子 株式会社ローカルファースト研究所代表取締役
竹本 和彦 国連大学サステナビリティ高等研究所所長
仲條 亮子 グーグル合同会社執行役員
藤田 壮 東京工業大学科学技術創成研究院特任教授・
国立環境研究所社会環境システム研究センター長

自治体SDGs推進のための有識者検討会②

スケジュール

第1回	平成29年6月15日	検討会目的の確認、論点整理等
第2回	平成29年7月7日	基本コンセプト検討(制度、体制等)
第3回	平成29年7月27日	コンセプト中間とりまとめ(たたき台)
第4回	10月下旬	コンセプト中間とりまとめ(案)
第5回	11月下旬	コンセプト中間とりまとめ(案)



第一回検討会模様

第1、2回検討会における委員の意見取りまとめ(コンセプト中間取りまとめ(たたき台))の目次

I はじめに

II 「環境未来都市」構想について

1. 「環境未来都市」構想のこれまでの成果と今後の課題
2. その成果は、自治体SDGs推進にあたって、どのように活用できるか

III 地方創生における自治体SDGs推進の意義:自治体や市民、民間企業等からの視点

1. 自治体としてSDGs推進に取り組む意義、メリットとは何か
2. 市民や様々なステークホルダーから見て、自治体に期待する役割(自治体ならではの強み)は何か
3. 自治体がSDGs推進のために取り組むべき事項とは何か

IV 政府の役割

1. 政府として、地方自治体に期待する役割をどのように考えるべきか
2. 自治体SDGs推進のための、政府として取り組むべき事項(施策の基本的方向)とは何か

地方創生に向けた自治体SDGsに係る国際フォーラムの開催

内閣記者会・経済研究会に資料貼出



平成 29 年 8 月 10 日
内閣府地方創生推進室

第7回「環境未来都市」構想推進国際フォーラム 「地方創生に向けたSDGsの取組」の開催について

内閣府及び「環境未来都市」構想推進協議会は、第7回「環境未来都市」構想推進国際フォーラムを、下記のとおり開催いたします。

本フォーラムは、国内外の各都市や有識者に登壇いただき、世界共通の課題である環境問題・超高齢化の課題解決に向けて議論する国際会議です。

第7回目となる今回のテーマは「地方創生に向けたSDGsの取組 ～環境未来都市の5年間の取組総括と国際化も視野に含めた今後の展開～」です。

これまでの「環境未来都市」構想の実績を踏まえ、地方創生における自治体SDGs達成のための取組を推進するに当たっての基本的考え方について、国内実施・国際連携の両面から議論し、方向性を得ることを目的として考えております。

記

1. 日 程 平成 29 年 10 月 4 日 (水) 9 時 30 分～17 時 30 分 (予定)
2. 場 所 柏の葉カンファレンスセンター (千葉県柏市)
3. 主 催 内閣府・「環境未来都市」構想推進協議会
4. 後 援 株式会社 日本経済新聞社
5. 概要・参加登録 プログラム概要については、以下のサイトでお知らせいたします。
一般参加登録についても、同サイトにより募集を行います。
(平成 29 年 8 月 14 日開始を予定。
定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。)
<http://adnet.nikkei.co.jp/e/171004/>

※上記フォーラム開催、一般参加登録開始をご案内するものです。

※取材のご案内につきましては、別途開催日周辺にお知らせいたします。

■問合せ先

内閣府地方創生推進室 高橋・宮坂・郷田
東京都千代田区永田町1-11-39 永田町合同庁舎7階
電話：03-5510-2175 FAX：03-3591-8801
E-mail：g.futurecity@cao.go.jp
URL：<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiki/kanryo/>

■プログラム ※講演者・講演内容・タイムスケジュールは事前の予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

開会	9:30～10:00
主催者挨拶	内閣府 「環境未来都市」構想推進協議会
開催地挨拶	柏市(環境未来都市) ほか
セッションI	10:30～12:00
「『環境未来都市』構想とSDGsの理念」 コーディネーター 村上 周三氏 (一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構 理事長) ハネリスト 北橋 健治氏 (北九州市長) 蟹江 憲史氏 (慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 教授) ジノ・ヴァン・ベギン氏 (イクレイ 世界事務局長) アイサ・キラボ・カチラ氏 (国連人間居住計画 (ハビタット) 事務局次長)	
セッションII	13:45～15:15
「自治体SDGsにおけるパートナーシップの推進 ～柏市における公・民・学連携の取組から～」 コーディネーター 出口 敦氏 (東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授) ハネリスト 秋山 浩保氏 (柏市長) 野田 武則氏 (釜石市長) 後藤 良子氏 (株式会社URBANWORKS 代表取締役) アレハンドロ・エチエリ氏 (EAFIT大学都市環境研究センター (URBAM) ディレクター)	
セッションIII	15:30～17:00
「地方創生につながる国内外のSDGs推進の事例」 コーディネーター 竹本 和彦氏 (国際連合大学サステイナビリティ高等研究所 所長) ハネリスト 森 雅志氏 (富山市長) 浜中 裕徳氏 (一般社団法人 イクレイ日本 理事長 / 公益財団法人 地球環境戦略研究機関 特別研究顧問) リドワン・カミル氏 (インドネシア共和国 バンドン市長) ステファン・ヒルトン氏 (英国プリストル市の有識者)	
総括	17:15～17:30
村上 周三氏 (セッションI・総括コーディネーター) 出口 敦氏 (セッションIIコーディネーター) 竹本 和彦氏 (セッションIIIコーディネーター)	